

立教大学学術推進特別重点資金 (立教 S F R)
プロジェクト研究 (自由プロジェクト研究)
2006 年度研究【経過・成果】報告書

研究課題	アメリカに渡った日本の図像・文芸の研究—スペンサー・コレクション資料の調査および刊行		
研究代表者	所属・職名		氏名
	文学部 ・ 教授		小嶋 菜温子 印
研究組織	所属大学名等・職名		氏名
	文学部・教授 文学部・教授 文学部・教授 文学部・教授 文学部・助手 実践女子大学・文学部・教授 恵泉女学園大学・人文学部・助教授 文部科学省学術振興会特別研究員 文学研究科・博士課程後期課程 文学研究科・博士課程後期課程 文学研究科・博士課程後期課程		渡辺 憲司 加藤 定彦 小峯 和明 加藤 睦 安原 眞琴 武笠 朗 稲本 万里子 マシュー・トンプソン 綿引 香織 長谷川 範彰 目黒 将史
研究期間	2005 年度 ～ 2006 年度		
研究経費	2005 年度	2006 年度	総計
	4000 千円	3840 千円	7840 千円

研究の概要 (200～300 字で記入、図・グラフ等は使用しないこと。)

本プロジェクト研究の目的は、海外にある貴重な日本の文化遺産を掘り起こし、その調査・研究成果を刊行することであり、日本古典籍資料、とくに日本関係の図像資料の宝庫であるニューヨーク公立図書館 (ニューヨーク・パブリックライブラリー) のスペンサー・コレクションを調査対象とする。その蒐集の質の高さの一端は、日本の古典籍鑑定の権威である反町茂雄による同コレクション蔵書目録 (昭和 53) に示されるが、近年の増補コレクションも含めた詳細はいまだ明らかではなく、スペンサー・コレクション所蔵資料の調査と整理とその詳細な解題の刊行を本プロジェクト研究では企画している。

キーワード (研究内容をよく表しているものを 3 項目以内で記入。)

[図像] [日本文化] [国際]

研究【経過・成果】の概要 (図・グラフ等は使用しないこと。)

①2006 年度本プロジェクト遂行の経過を記す。

6 月 23 日 第一回会議

目的:2006 年度の活動方針と活動内容の討議および、それにとまなう
役割分担の決定

出席者:小嶋菜温子、小峯和明、渡辺憲司、加藤定彦、加藤睦、安原眞琴、
武笠朗、稲本万里子、マシュー・トンプソン、綿引香織、長谷川範彰、
目黒将史、青木慎一

9 月 29 日 第二回会議

目的:前期活動報告会

出席者:小嶋菜温子、小峯和明、渡辺憲司、加藤睦、安原眞琴、
稲本万里子、綿引香織、長谷川範彰、目黒将史

11 月 7 日 第三回会議

目的:渡辺雅子先生(アメリカにおける研究協力者)を迎えての調査準備会

出席者:小嶋菜温子、小峯和明、渡辺憲司、加藤定彦、加藤睦、安原眞琴、
渡辺雅子、武笠朗、稲本万里子、マシュー・トンプソン、綿引香織、
長谷川範彰、目黒将史、青木慎一

12 月 25 日～1 月 7 日 (現地調査)

1 月 26 日 ミニシンポジウム「スเปนサー・コレクション資料をめぐって—立教 SFR

2006 年度調査報告—」

① スเปนサー・コレクション蔵『堀川夜討』の翻刻(マシュー・トンプソン)

② スเปนサー・コレクション蔵『熊野の本地』について(綿引香織)

③ スเปนサー・コレクション蔵『拾遺和歌集』について(長谷川範彰)

④ スเปนサー・コレクション蔵『曾我物語絵巻』について(目黒将史)

1 月 26 日 第四回会議(調査報告*宮腰直人・馬場淳子、データ・ベース準備)

目的:SFR調査に関するミニシンポジウムの反省会および 2006 年度後期活動
の総括ならびに報告書作成に関する打ち合わせ

出席者:小嶋菜温子、小峯和明、渡辺憲司、加藤定彦、加藤睦、安原眞琴、
渡辺雅子、武笠朗、稲本万里子、マシュー・トンプソン、綿引香織、
長谷川範彰、目黒将史、青木慎一

②2006 年度調査の概要は以下のとおりである。

12 月 25 日から 1 月 7 日の期間を設けて、メンバー 9 名(小嶋菜温子、渡辺憲司、小峯和明、加藤睦、マシュー・トンプソン、綿引香織、長谷川範彰、目黒将史)が渡米、ニューヨーク・パブリックライブラリを中心として各自調査に携わった。パブリック・ライブラリでは、本プロジェクトの目的とするスเปนサー・コレクションの第二回目の調査を行った。関連調査として、メトロポリタン美術館において、近世浮世絵・熊野曼茶羅・平家物語屏風・伊勢物語絵などの貴重資料の特覧と調査を行い、またバーク・コレクションにおいて三十六歌仙画帖・熊野の本地などの貴重資料の特覧と調査を行った。なお、加藤定彦は、国内関連資料の調査と、スเปนサー・コレクション資料の吟味・鑑定のアドバイザーを務めた。なお、アメリカ側協力者として、メトロポリタン美術館・主任研究員の渡辺雅子氏にはニューヨークでの調査に関して全面的な協力を得た。

③2006 年度スเปนサー・コレクションでの調査の成果は以下のとおりである。

予算の範囲内でチーム毎に可能な限りの日程のもとで、2005 年度調査の残余の調査に取り組み、スเปนサー・コレクション「絵本」展に出展されている資料をのぞいての調査を行うことができた(幸いに「絵本」展の出品資料についてはカタログ化されたため、調査対象外となる)。2 年計画での調査の当初目標はほぼ達成することができた(再調査も含めて、若干の未調査資料については、今後も継続して行う予定)。

研究【経過・成果】の概要 つづき

- 小嶋 (源氏物語画帖 1 帖、源氏物語絵 1 帖、源氏絵鏡 2 冊、十帖源氏 3 冊、源氏小鏡 3 冊、狭衣 3 冊、住吉物語 3 冊、竹取物語 3 冊)
- 渡辺 (京四条河原若衆歌舞伎之図巻 1 巻、遊女画像絵巻 1 巻、歌仙画帖 1 帖、婦女遊楽図 1 巻、婦人髻形集 2 帖、鯨魚纜笑録 1 冊、鯨志 1 冊、葵氏艶譜 3 冊、伊曾保物語 3 冊、美人絵づくし 3 冊、浮世続絵尽 1 冊、しだれ柳 1 冊、大津みやげ 1 冊) 小峯 (釈尊出世略伝記 2 巻、探幽縮図 1 巻、朝鮮人行列図 1 巻、西行物語 3 冊、帝鑑の図 1 2 冊、十二類絵巻 3 巻、聖徳太子絵伝 1 0 冊、日蓮大聖人註画讃 5 帖、華夷人物 1 巻、地獄漫画 1 巻、伊曾保物語 3 冊、仏説十王経 1 冊、蝦夷草木図 1 冊、万国人物図巻 1 巻、百合若大臣 2 冊)
- 加藤睦 (西行物語 3 冊、京名所図巻 2 巻、道中名所図巻 2 巻、新三十六歌仙 2 帖、東都名所一覽 2 冊、狂歌三十六歌仙 1 帖、三十六人狂歌仙 1 冊、環遊紀勝 8 冊、洛陽名所集 1 2 冊、扶桑名勝図 4 帖、絵本物見岡 2 冊)
- マシュー (屋島尼公物語 2 巻、四国落 1 冊、張良 2 巻、常盤問答 1 冊、是害坊絵巻 1 巻、弁慶一代記 5 冊、棒術秘伝書 1 巻、梅若丸絵巻 3 巻、絵本義経記 5 冊、武家繁昌 1 冊、平家物語 1 2 巻合 6 冊、平家物語絵巻下絵 7 巻、朝鮮人行列図 1 巻、名山図譜 3 冊、京名所図巻 2 巻)
- 綿引 (因果業鏡図巻 1 巻、熊野の本地絵巻 3 巻、日吉利生記 4 巻、高野大師行状図画 1 巻、弘法大師絵巻 1 巻、大王姫絵巻 3 巻、役行者物語絵巻 1 巻、岩屋の草紙 2 冊、梅若丸絵巻 3 巻、ぶんしょう 3 巻、文正 3 冊、文正の草子 3 冊)
- 長谷川 (三十六歌仙絵巻(A) 1 巻、三十六歌仙絵巻(B) 1 巻、光悦本三十六歌仙 1 冊、女房三十六歌仙 1 巻、後撰集抄 1 巻、伊勢物語絵巻 3 巻、源氏物語 5 4 冊、新古今和歌集残巻 1 巻、拾遺和歌集 1 冊、千載集秀歌 1 巻、伊勢物語絵巻 3 巻)
- 目黒 (曾我物語 1 巻、根源曾我物語 2 巻、稻富流鉄砲伝書 2 帖、琉球人行列之図 1 巻、太平記絵巻 1 巻、兵法運氣之巻 1 巻、鬼の戯画 1 巻、怪物絵巻 1 巻、絵本亀尾山 3 冊、徳川羽柴智勇戦場 4 冊、小あつもり 1 巻、絵本義経記 5 冊)

また、調査済み資料のデータ・ベース化作業については、プロジェクトの組織図に基づく各チームごとに、前記の会議日程以外の時間を使って随時行い、現在ほぼデータの集積作業を終えたところである。さらに残余の調査にもとづくデータ化についても引き続き、同じチーム編成において行っていく予定である。なお、2006 年度・2007 年度の二年にわたる調査研究活動の報告書を別途作成し、添付する。また、この二年次にわたる活動を基盤とする成果報告として、別に論文集を企画中であり、2007 年度中に公刊の予定である (版元は森話社)。

研究発表 (研究によって得られた研究経過・成果を発表した①～④について、該当するものを記入してください。該当するものが多い場合は主要なものを抜粋してください。)

- ①雑誌論文 (著者名、論文標題、雑誌名、巻号、発行年、ページ)
- ②図書 (著者名、出版社、書名、発行年、総ページ数)
- ③シンポジウム・公開講演会等の開催 (会名、開催日、開催場所)
- ④その他 (学会発表、研究報告書の印刷等)

① 雑誌論文

- 小嶋菜温子「光源氏の元服・結婚一盃酌歌と賀の時空」、日向一雅・仁平道明編『源氏物語の始発一桐壺卷論集』、竹林舎、2006年、p131～139
- 小嶋菜温子「源氏物語研究の回顧と展望」、全国大学国語国文学会編『日本語日本文学の新たな視座』、おうふう、2006年、p121～142
- 小嶋菜温子「『蜻蛉日記』初瀬詣での「鯉」と「雉」」、『国文学（旅と日記——王朝の女流を中心に）』学燈社、2006年、p32～41
- 渡辺憲司・安原眞琴「松平定信『戊子桜狩之絵巻』ニューヨーク・スペンサーコレクション所蔵資料紹介」、『文学』、第7巻第1号、p53～60
- 渡辺憲司「遊女の教養」、『NHK知るを楽しむ歴史に好奇心』NHK出版、2006年、p32～41
- 渡辺憲司「遊里の学問」、『文学』、岩波書店、2007年5月予定
- 小峯和明「スペンサー本『百鬼夜行絵巻』と幕末の『平家物語』—冷泉為恭と遷都の物語」、『文学』、岩波書店、2006年5,6月号、2006年、p109～123
- 武笠朗「蓮華王院長寛造像の研究（一）—創建の経緯と造立仏師の検討—」、『美学美術史学』21、2006年、p27～48
- 稲本万里子「女三宮再考」、三田村雅子・河添房江編『描かれた源氏物語』、翰林書房、2006年、p56～61
- 宮腰直人・目黒将史「資料紹介—立教大学蔵『竹取物語』貼交屏風」、『立教大学大学院日本文学論叢』第6号、2006年、p9～22
- 綿引香織「『熊野の本地』第五系統本にみる山王信仰との関係—山中養育譚の分析を軸に一」、『奈良絵本・絵巻研究』第4号、2007年刊行予定

② 図書

- 小嶋菜温子『よみがえる絵巻・絵本 チェスタービーティーライブラリー所蔵「竹取物語絵巻」』勉誠出版、2007年予定
- 浦野聡・小嶋菜温子編『肖像と個性』春風社、2007年予定
- 小峯和明・小嶋菜温子編『源氏物語の文化史』（仮題）、森話社、2007年予定。

③ シンポジウム

- 会名：ミニ・シンポジウム（スペンサー・コレクションについて）
- 開催日：2007・1・26
- 開催場所：立教大学7号館7201教室
- 発表者および発表内容：

- ① スペンサー・コレクション蔵『堀川夜討』の翻刻（マシュー・トンプソン）
- ② スペンサー・コレクション蔵『熊野の本地』について（綿引香織）
- ③ スペンサー・コレクション蔵『拾遺和歌集』について（長谷川範彰）
- ④ スペンサー・コレクション蔵『蘇我物語絵巻』について（目黒将史）

④ その他

- 稲本万里子「『源氏物語絵巻』の解釈をめぐって—文学研究と美術史研究の共同に向けて」『立教大学日本文学科創設50周年記念国際シンポジウム「21世紀の日本文学研究」報告書』立教大学文学部日本文学専修、2007年2月、p57～64